

社会福祉法人 淡路島福社会 中期経営計画（2026-2028）

スローガン：『Vision 2028：安定・洗練・安心 ～次世代に繋ぐ、信頼のカタチ～』

【柱1：安定】持続可能な経営基盤と安全な環境の確立（ハード面）

2026年度：現状把握と計画始動

- ・施設内設備の総点検実施。特にエレベーター等の大型機器の修繕優先順位を確定。
- ・「動くBCP」の徹底。実戦訓練による防災意識を組織に定着させる。

2027年度：計画的修繕の実施

- ・修繕計画に基づき、優先度の高い機器から順次更新を行い、事故リスクを最小化。

2028年度：強靱なインフラの完成

- ・予防保全サイクルの確立。突発的な故障に振り回されない、安心安全な施設環境を完成させる。

【柱2：洗練】DXによる組織改革とスマートな運営（ソフト面）

2026年度：システム刷新と断捨離

- ・最新人事管理システムを本格導入。勤怠・評価のデジタル化による事務負担の大幅削減に着手。
- ・「業務の棚卸し」を断行し、付加価値の低い慣例業務を廃止。

2027年度：データの利活用と質的向上

- ・蓄積された人事データを活用し、より適正な人員配置と公平な評価制度を運用。
- ・効率化で生み出された時間を「利用者との対話」に充て、サービスの質を差別化。

2028年度：洗練された福祉モデルの確立

- ・「スマートな福祉」を対外的に発信。業務の効率とケアの質が両立したモデル事業所を目指す。

【柱3：安心】次世代への継承と魅力ある職場づくり（ヒト面）

2026年度：規程整備と育成の着火

- ・柔軟な働き方を支える諸規程のアップデート完了。福利厚生の拡充。
- ・次世代リーダー候補の選抜と、世代交代を見据えた研修プログラムの策定。

2027年度：技術継承と対話の深化

- ・権限規程の見直しによる権限移譲の土台作りと登用枠の設置。
- ・ベテランの「心」と若手の「スキル」を融合させるメンター制度等の実施。
- ・「南あわじ市子育て応援コンソーシアム」等の外部連携を通じ、多様な働き方を文化として定着。

2028年度：次世代リーダーシップの開花

- ・若手・中堅への権限移譲を進め、新しい感性による経営参画を促進。
- ・「選ばれる職場」として、離職率の低下と質の高い人材確保を完全に実現。

【2028年度に私たちが目指す姿】

「動くBCP」と「計画修繕」により、地域で最も安全な福祉拠点となっている。

最新システムと「断捨離」により、職員がクリエイティブなケアに集中できている。

多様な働き方と「世代交代」により、次世代が誇りを持ってバトンを繋いでいる。